

こども委員会のよりみちコラム

今回の担当：高橋 望

書いた日：2024年11月2日

こんにちは。暑かったり寒かったりを経て、ようやく体も秋仕様になってきたと感じるこの頃です。通勤途中に見える木々もだいぶ色づいてきました。寒い冬を迎える前に秋らしい、過ごしやすい日が長く続いてくれたらいいなと思っています。今月は高橋が担当します。よろしくをお願いします。

私は昨年から2年続けて同じ支援学校に訪問しています。昨年は初めての場所、先生や生徒さんと接するなかで、自分の力不足から介入や提案が思ったようにできなかったな、と思うことが少なくありませんでした。先生のニーズやこれまでの経過の聞き取り、観察、物品の適合の確認などやりたいことはたくさんありますが、どのくらいなら授業の妨げにならないだろうか・・・と悩んでしまうのです。勝手に気にしすぎた結果、書面や口頭でのご提案しかできなかったときは申し訳なく、悔しい気持ちにもなりました。他の方はどうしているのか、学校に行っている OT 間の情報交換・勉強会の場で聞いてみると、子どもたちと一緒に運動してきた、とかいろいろ試せるように自助具をポケットにたくさん入れて持っていつている、こういうタイミングで話しかけている等々、みなさんの工夫や配慮を知ることができ、私ももっと子どもたちや先生とたくさん関わって具体的な提案をたくさんしていこう、と決意して今年度を迎えました。普段の様子をみせてもらいながら、「私も一緒にやってもいいですか」「体に触らせてもらっても大丈夫でしょうか」と聞くと「大丈夫ですよ、どうぞどうぞ」と先生も子どもたちも快く受け入れてくれます。手の使い方、道具の設定など実際にやってみることで、ポイントやコツを伝えることができますし、先生と変化を共有することができました。口頭での説明だけではこちらの意図した通りに伝わっていない可能性がある、ということもわかりました。試行錯誤しながらちょっとずつ距離の取り方や関わり方がわかってきたような気がしています。そんななか、先生方から「あれよかったですよ、いろんな子に試しました」と声をかけていただくことができました。「あれ」はゴムホースで作ったグリップ補助具のことで、スプーンや鉛筆を使うときの困りごとに対してご提案したものの一つでした。「よかった」と思ってもらえてよかったなと嬉しく思いつつ、どんなふうに使ってくれたのか、どこをいいと感じてくれたのか、ちゃんと聞いておこう、と思ったのでした。限られた時間のなかでもコミュニケーションを大切にしていけたらと思います。それではこの辺で。最後まで読んでいただきありがとうございました！